



図 1-34 消費者の安全をどの程度考えていると思うか (n=1197, 各単数回答) ³²

³² 「次に挙げる食品の安全に関する人や組織は、消費者の安全をどの程度考えていると思いますか」

2. 考察

国産牛肉の BSE リスク認知については、2001 年 9 月に日本国内で BSE に感染した牛が発見された際には、国産牛肉に対する安心感は一旦下がったものの、現在は、アメリカ産牛肉に比べ、国産牛肉に対する不安感は極めて低いと言える。国内での BSE 発生直後に安心感が低下した主な理由として、個人への影響が不明確であるなど、科学的な解明がなされていないことが挙げられている。

現在、国が実施している BSE 対策の中では、BSE 検査の認知度が最も高いものの、実際の中身については間違った認識を持っている人も少なくない。また、2005 年 8 月以降、BSE 検査が義務付けられているのは、21 ヶ月齢以上の牛であることについて、経緯等も知っている人は極めて少なく、大多数が、21 ヶ月齢未満の牛も検査するべきと考えている。

一方で、義務づけの対象を 21 ヶ月齢以上の牛とした根拠となっている科学的評価の内容、および、その他の BSE 対策の内容について説明すると、対策の内容の変更に対して賛同が得られる傾向にある。

国産牛肉の安全性に関する情報提供方法としては、テレビ、新聞、インターネットニュースサイト等のメディアでの説明、およびスーパー、小売店等の店頭でのパンフレット、ポスター等の配布・掲示が効果的と考えられている。情報発信者としては、消費者団体、研究者、専門家が最も消費者の安全を考えているという認識が強い傾向にあり、信頼の強さが読み取れる。一方で、マスコミ関係者、小売業者、流通事業者、国や地方自治体に対する信頼は低い傾向にある。今後のリスクコミュニケーションを企画、実施する際には、これらの情報を参考とし、一般消費者との接触が多い媒体を用い、信頼の置かれている発信者からの情報提供方法について検討することが重要である。

付録Ⅱ 単純集計表

(SA)問1あなたは牛肉を使った料理をどのくらいの頻度で食べますか？家庭内で食べるものと、外食を含めてお答えください。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.0%	1197	100.0%
1	1週間に2~3回以上	348	17.3%	228	19.0%
2	1週間に1回程度	648	32.3%	441	36.8%
3	月に1~2回程度	593	29.5%	328	27.4%
4	月に1回未満	304	15.1%	160	13.4%
5	全く食べない	113	5.6%	36	3.0%
6	その他	1	0.0%	4	0.3%
	無回答	1	0.0%		

(SA)問2 国産牛肉-あなたは日ごろ、牛肉を食べることに対して不安を感じていますか。国産牛肉とアメリカ産牛肉とに分けてお伺いします。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.0%	1197	100.0%
1	不安を感じていない	793	39.5%	573	47.9%
2	あまり不安を感じていない	768	38.2%	454	37.9%
3	どちらともいえない	208	10.4%	105	8.8%
4	やや不安を感じている	161	8.0%	45	3.8%
5	不安を感じている	78	3.9%	20	1.7%

(SA)問2 アメリカ産牛肉-あなたは日ごろ、牛肉を食べることに対して不安を感じていますか。国産牛肉とアメリカ産牛肉とに分けてお伺いします。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.0%	1197	100.0%
1	不安を感じていない	177	8.8%	116	9.7%
2	あまり不安を感じていない	296	14.7%	198	16.5%
3	どちらともいえない	269	13.4%	219	18.3%
4	やや不安を感じている	574	28.6%	332	27.7%
5	不安を感じている	689	34.3%	332	27.7%
	無回答	3	0.1%		

(SA)問3その後、国産牛肉に対する安心感は変化しましたか？「BSE発生直後」と、その後の変化について教えてください。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.0%	1197	100.0%
1	安心感は一旦低下したが、その後BSE発生前のレベルに戻った	481	24.0%	230	19.2%
2	安心感は一旦低下したが、その後やや高まった (BSE発生以前までは戻らない)	366	18.2%	299	25.0%
3	安心感は低下したままである	327	16.3%	271	22.6%
4	安心感は特に変わらない	687	34.2%	332	27.7%
5	覚えていない	85	4.2%	37	3.1%
6	国内でBSEが発生したことを知らなかった	36	1.8%	24	2.0%
7	その他	18	0.9%	4	0.3%
	無回答	8	0.4%		

(MA)問3-1国産牛肉に対する安心感が低下したときの気持ちに近いものを次の中からすべて選んでください。

		訪問調査		web調査	
		1174		800	↓MAX100.0%
1	自分にどのような影響があるかわからない不安	559	47.6%	377	47.1%
2	BSEの原因が科学的に解明されていないことへの不安	379	32.3%	337	42.1%
3	自分がBSEに感染するかもしれないという不安	315	26.8%	189	23.6%
4	直接的な不安ではなく、世の中の不安感の影響を受けた	235	20.0%	152	19.0%
5	はっきりした根拠はないが、何となく不安	153	13.0%	78	9.8%
6	覚えていない	11	0.9%	5	0.6%
7	その他	28	2.4%	25	3.1%
	無回答	11	0.9%		

(MA)問3-2国産牛肉に対する安心感が高まった(戻った)理由、もともと安心感が変わらなかった理由を次の中からすべて選んでください。

		訪問調査		web調査	
		1534		861	↓ MAX100.0%
1	牛肉によって健康被害が発生した例が少ない	441	28.7%	279	32.4%
2	BSEに対して、検査体制や対策が確立された	427	27.8%	286	33.2%
3	牛肉の店頭表示(産地、育成方法、流通ルート等)が充実した	373	24.3%	232	26.9%
4	はっきりとした理由はないが、何となく	328	21.4%	170	19.7%
5	牛肉の安全性を管理する国などが信頼できる	211	13.8%	101	11.7%
6	牛肉の生産・流通関係者が信頼できる	185	12.1%	113	13.1%
7	その他	64	4.2%	36	4.2%
	無回答	44	2.9%		

(MA)問4国産牛肉に関するあなたの考えは、どのような情報を参考にしていますか？ 主な情報源を次の中から3つまで選んでください。

		訪問調査		web調査	
		2008		1197	↓ MAX100.0%
1	テレビ	1773	88.3%	997	83.3%
2	新聞	1476	73.5%	873	72.9%
3	食品売場での情報提供	453	22.6%	201	16.8%
4	身近な人からの口コミ	297	14.8%	134	11.2%
5	雑誌	211	10.5%	102	8.5%
6	Web等	163	8.1%	246	20.6%
7	携帯電話等	10	0.5%	0	0.0%
8	特にない	85	4.2%	61	5.1%
9	覚えていない	1	0.0%	3	0.3%
10	その他	40	2.0%	18	1.5%
	無回答	9	0.4%		

(MA)問5国産牛のBSEに対して、国では以下のような対策を実施しています。あなたの知っている対策を次の中からすべて選んでください。

		訪問調査		web調査	
		2008		1197	↓MAX100.0%
1	BSE検査	1384	68.9%	971	81.1%
2	肉骨粉の牛の飼料としての使用禁止	1199	59.7%	853	71.3%
3	BSE発生国からの牛肉や飼料などの輸入規制	969	48.3%	720	60.2%
4	食肉処理場等における特定危険部位(SRM)の除去	920	45.8%	745	62.2%
5	牛の生産履歴が分かるトレーサビリティ制度	521	25.9%	513	42.9%
6	死亡牛の届出及びBSE検査	370	18.4%	253	21.1%
7	どれも知らない	220	11.0%	82	6.9%
	無回答	2	0.1%		

(MA)問6BSE検査についてお伺いします。BSE検査について正しいと思うものをすべて選んでください。

		訪問調査		web調査	
		1384		971	↓MAX100.0%
1	BSE検査は異常プリオンがあるかどうかを調べるものである	745	53.8%	584	60.1%
2	検査が義務づけられているのは21ヶ月齢以上である	539	38.9%	389	40.1%
3	BSE検査は生きている牛で診察のような検査を行うことである	494	35.7%	188	19.4%
4	BSE検査で、BSEに感染した牛は全て見つけられる	233	16.8%	96	9.9%
5	どれもあてはまらない	105	7.6%	95	9.8%
	無回答	28	2.0%		

(SA)問7あなたは、日本におけるBSE検査の基準は、アメリカの基準に影響を受けていると思いますか。

		訪問調査		web調査	
		1384	100.0%	971	100.0%
1	そう思う	254	18.4%	151	15.6%
2	やや そう思う	385	27.8%	321	33.1%
3	どちらとも いえない	357	25.8%	276	28.4%
4	あまりそう 思わない	200	14.5%	167	17.2%
5	そう思わない	134	9.7%	56	5.8%
	無回答	54	3.9%		

(SA)問8国産牛肉のBSE検査が義務づけられているのは、2005年8月以降は21ヶ月齢以上であることをご存じでしたか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.0%	1197	100.0%
1	経緯等も詳しく知っていた	138	6.9%	53	4.4%
2	何となく知っていた	786	39.1%	600	50.1%
3	知らなかった	1061	52.8%	543	45.4%
4	その他	7	0.3%	1	0.1%
	無回答	16	0.8%		

(SA)問921ヶ月齢未満の若齢牛についてBSE検査が義務づけられていないことについて、どう思われますか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.0%	1197	100.0%
1	検査をするべきだと思う	1172	58.4%	752	62.8%
2	どちらともいえない、わからない	678	33.8%	371	31.0%
3	検査しなくてよいと思う	141	7.0%	74	6.2%
	無回答	17	0.8%		

(MA)問9-1あなたが、21ヶ月齢未満の若齢牛についてBSE検査するべきだと思う理由、又はどちらともいえないと思う理由を次の中から2つまで選んでください。

		訪問調査		web調査	
		1850		1123	↓MAX100.0%
1	検査により安全が確保されるため	1109	59.9%	616	54.9%
2	なんとなく不安なので、 全て検査をして欲しい	701	37.9%	287	25.6%
3	検査を行わない理由が 分からないため	355	19.2%	281	25.0%
4	国の評価結果が信用できないため	258	13.9%	207	18.4%
5	はっきりした理由はない	149	8.1%	101	9.0%
6	その他	61	3.3%	33	2.9%
	無回答	4	0.2%		

(MA)問9-2あなたが、検査しなくてもよいと思う理由を次の中から2つまで選んでください。

		訪問調査		web調査	
		141		74	↓MAX100.0%
1	国が評価した結果が 妥当だと考えるため	65	46.1%	25	33.8%
2	21ヶ月齢未満の牛の検査をしなくても、 他の対策により安全性が 確保されているため	54	38.3%	27	36.5%
3	EUなどの他国でも全ての月齢を 検査対象としていないため	38	27.0%	16	21.6%
4	BSEにそれほど不安を 感じていないため	30	21.3%	24	32.4%
5	はっきりした理由はない	5	3.5%	3	4.1%
6	その他	7	5.0%	6	8.1%

(SA)問10 人への感染リスクが殆どないこと-説明資料を見て、あなたは行政のBSE対策によってリスクが小さくなることについて理解ができましたか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.0%	1197	100.0%
1 理解できた	571	28.4%	216	18.0%
2 ある程度理解できた	1021	50.8%	662	55.3%
3 どちらともいえない	311	15.5%	253	21.1%
4 あまり理解できない	64	3.2%	49	4.1%
5 理解できない	40	2.0%	17	1.4%
無回答	1	0.0%		

(SA)問10 肉骨粉の飼料規制によって感染が拡大しないこと-説明資料を見て、あなたは行政のBSE対策によってリスクが小さくなることについて理解ができましたか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.0%	1197	100.0%
1 理解できた	741	36.9%	283	23.64%
2 ある程度理解できた	898	44.7%	656	54.80%
3 どちらともいえない	281	14.0%	207	17.29%
4 あまり理解できない	61	3.0%	37	3.09%
5 理解できない	26	1.3%	14	1.17%
無回答	1	0.0%		

(SA)問10 BSE対策実施以降に生まれた牛には感染牛が発見されていないこと-説明資料を見て、あなたは行政のBSE対策によってリスクが小さくなることについて理解ができましたか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.0%	1197	100.0%
1 理解できた	855	42.6%	302	25.23%
2 ある程度理解できた	793	39.5%	598	49.96%
3 どちらともいえない	271	13.5%	232	19.38%
4 あまり理解できない	58	2.9%	47	3.93%
5 理解できない	29	1.4%	18	1.50%
無回答	2	0.1%		

(SA)問10 特定危険部位の除去によって感染牛が市場に流通されないこと-説明資料を見て、あなたは行政のBSE対策によってリスクが小さくなることについて理解ができましたか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.0%	1197	100.0%
1 理解できた	735	36.6%	254	21.22%
2 ある程度理解できた	867	43.2%	631	52.72%
3 どちらともいえない	313	15.6%	255	21.30%
4 あまり理解できない	58	2.9%	41	3.43%
5 理解できない	31	1.5%	16	1.34%
無回答	4	0.2%		

(SA)問10 BSE検査によって、感染牛の流通をチェックしていること-説明資料を見て、あなたは行政のBSE対策によってリスクが小さくなることについて理解ができましたか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.0%	1197	100.0%
1 理解できた	776	38.6%	274	22.89%
2 ある程度理解できた	887	44.2%	657	54.89%
3 どちらともいえない	272	13.5%	215	17.96%
4 あまり理解できない	45	2.2%	38	3.17%
5 理解できない	23	1.1%	13	1.09%
無回答	5	0.2%		

(SA)問11説明によって、国産牛肉の安全性について、安心感はどのようになりましたか。

	訪問調査		web調査	
	1811	100.0%	1197	100.0%
1 安心感が高まった	709	39.1%	314	26.2%
2 変わらない (もともと安心している)	585	32.3%	434	36.3%
3 どちらともいえない 、わからない	385	21.3%	344	28.7%
4 変わらない (不安なまま)	114	6.3%	99	8.3%
5 安心感が下がった	9	0.5%	6	0.5%
無回答	9	0.5%		

(MA)問11-1安心感が高まった、又はもともと安心している理由は次のうち、どれに当てはまりますか。あなたの気持ちに近いものをすべて選んでください。

		訪問調査		web調査	
		1294		748	↓MAX100.0%
1	危険な部位が除去されているため	676	52.2%	382	51.1%
2	BSE対策が理解できたため	671	51.9%	360	48.1%
3	飼料の規制等によって新たに感染する牛が発生しないとわかったため	612	47.3%	308	41.2%
4	感染した牛の肉が流通しないように検査されているため	597	46.1%	346	46.3%
5	人への感染リスクが殆どないことがわかったため	556	43.0%	313	41.8%
6	総合的にみて、検査体制や対策が確立しているため	413	31.9%	290	38.8%
7	2002年以降に生まれた牛にはBSEが発見されていないため	391	30.2%	239	32.0%
8	今まで発見されたBSE感染牛の数が非常に少ないため	185	14.3%	130	17.4%
9	獣医がチェックしているため	141	10.9%	52	7.0%
10	はっきりとした理由はない	37	2.9%	31	4.1%
11	その他	18	1.4%	8	1.1%

(MA)問11-2安心感が変わらない(不安なまま)、又は下がった理由はどのようなものですか。すべてお選びください。

		訪問調査		web調査	
		123		105	↓MAX100.0%
1	BSEに対する検査体制や対策が十分かどうかわからない	66	53.7%	56	53.3%
2	体制はあっても牛肉の生産・流通関係者が信頼できない	62	50.4%	59	56.2%
3	どのような対策をとっても、BSEは未だに解明されていない部分がある	56	45.5%	61	58.1%
4	安全性を管理する国などの行政機関が信頼できない	48	39.0%	68	64.8%
5	はっきりとした理由はない、漠然とした不安	7	5.7%	9	8.6%
6	その他	9	7.3%	5	4.8%
	無回答	1	0.8%		

(SA)問12-1あなたは、21ヶ月齢以上の牛に検査を義務づけた理由が理解できましたか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.00%	1197	100.00%
1	理解できた	480	23.9%	214	17.9%
2	ある程度理解できた	1078	53.7%	727	60.7%
3	どちらともいえない	263	13.1%	176	14.7%
4	あまり理解できない	137	6.8%	58	4.8%
5	理解できない	42	2.1%	22	1.8%
	無回答	8	0.4%		

(SA)問12-221歳未満の若齢牛についてはBSE検査が行われないとすると、あなたの牛肉の食べ方は変化すると思いますか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.0%	1197	100.0%
1	変化すると思う	172	8.6%	70	5.8%
2	ある程度変化すると思う	432	21.5%	258	21.6%
3	どちらともいえない	505	25.1%	369	30.8%
4	あまり変化しないと思う	602	30.0%	376	31.4%
5	変化しないと思う	293	14.6%	124	10.4%
	無回答	4	0.2%		

(SA)問12-3あなたは検査の義務づけを21ヶ月齢以上の牛とすることについてどう思いますか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.0%	1197	100.0%
1	賛同できる	232	11.6%	132	11.0%
2	ある程度賛同できる	692	34.5%	414	34.6%
3	どちらともいえない	650	32.4%	361	30.2%
4	あまり賛同できない	337	16.8%	202	16.9%
5	賛同できない	94	4.7%	88	7.4%
	無回答	3	0.1%		

(MA)問12-4あなたが、検査の義務づけを21ヶ月齢以上の牛とすることに賛同できる理由を次の中からすべて選んでください。

		訪問調査		web調査	
		924		546	↓MAX100.0%
1	科学的に評価された対応として妥当だと考えるため	495	53.6%	309	56.6%
2	若齢牛を検査してもBSEを検出できないため	439	47.5%	220	40.3%
3	これまでに21ヶ月齢未満の牛ではBSEが発見されていないため	358	38.7%	188	34.4%
4	BSEにそれほど不安を感じていないため	197	21.3%	110	20.1%
5	21ヶ月齢未満の牛の検査をしなくても、他の対策により安全性が確保されているため	172	18.6%	96	17.6%
6	税金で賄われている検査費用が削減できるため	89	9.6%	69	12.6%
7	EUなどの他国でも全ての月齢を検査対象としていないため	65	7.0%	51	9.3%
8	はっきりした理由はない	20	2.2%	32	5.9%
9	その他	11	1.2%	5	0.9%
	無回答	1	0.1%		

(MA)問12-5あなたが、検査の義務づけを21ヶ月齢以上の牛とすることに賛同できない理由を次の中からすべて選んでください。

		訪問調査		web調査	
		1081		651	↓MAX100.0%
1	21ヶ月齢未満の牛でも、今後BSEが発見される可能性があるため	691	63.9%	395	60.7%
2	なんとなく不安なので、全て検査をして欲しい	427	39.5%	171	26.3%
3	国の評価結果が信用できないため	196	18.1%	148	22.7%
4	検査を行わない理由が分からないため	176	16.3%	125	19.2%
5	生産段階や処理段階の管理よりも検査が有効であると思うため	171	15.8%	115	17.7%
6	はっきりした理由はない	95	8.8%	61	9.4%
7	その他	50	4.6%	26	4.0%
	無回答	5	0.5%		

(MA)問13国ではBSE対策を推進していますが、あなたはその他にどのような不安がありますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

		訪問調査		web調査	
		2008		1197	↓MAX100.0%
1	産地での飼育時に、肉骨粉が混入する可能性があること	798	39.7%	467	39.0%
2	検査時に21ヶ月齢以上の牛の検査が見逃される可能性があること	838	41.7%	529	44.2%
3	特定危険部位(SRM)の除去が確実に行われない可能性があること	850	42.3%	537	44.9%
4	流通段階で、検査されていない肉と混じる可能性があること	935	46.6%	561	46.9%
5	はっきりとした理由のない、漠然とした不安	156	7.8%	118	9.9%
6	特になし	274	13.6%	136	11.4%
7	その他	56	2.8%	36	3.0%
	無回答	29	1.4%		

(SA)問14 図1(グラフ) -説明に使用したグラフや図は、国が出すパンフレット等に掲載されていますが、どの図が分かり易かったですか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.00%	1197	100.00%
1 分かりやすい	705	35.1%	367	30.7%
2 どちらともいえない	737	36.7%	539	45.0%
3 分かりにくい	544	27.1%	291	24.3%
	22	1.1%		

(SA)問14 図2 -説明に使用したグラフや図は、国が出すパンフレット等に掲載されていますが、どの図が分かり易かったですか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.00%	1197	100.00%
1 分かりやすい	1466	73.0%	922	77.0%
2 どちらともいえない	421	21.0%	233	19.5%
3 分かりにくい	105	5.2%	42	3.5%
無回答	16	0.8%		

(SA)問14 図3 -説明に使用したグラフや図は、国が出すパンフレット等に掲載されていますが、どの図が分かり易かったですか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.00%	1197	100.00%
1 分かりやすい	806	40.1%	594	49.6%
2 どちらともいえない	864	43.0%	479	40.0%
3 分かりにくい	316	15.7%	124	10.4%
無回答	22	1.1%		

(SA)問14 図4 -説明に使用したグラフや図は、国が出すパンフレット等に掲載されていますが、どの図が分かり易かったですか。

	訪問調査		web調査	
	2008	100.00%	1197	100.00%
1 分かりやすい	994	49.5%	650	54.3%
2 どちらともいえない	771	38.4%	472	39.4%
3 分かりにくい	224	11.2%	75	6.3%
無回答	19	0.9%		

(MA)問15-1BSE対策について、あなたはどのような方法で情報を提供されると理解ができると思いますか。

	訪問調査		web調査	
	2008		1197	↓MAX100.0%
1 テレビなどでの説明	1388	69.1%	680	56.8%
2 新聞などでの解説文の増大	1090	54.3%	634	53.0%
3 スーパーなどの店頭での、 わかりやすい説明のボード等の掲示	1057	52.6%	641	53.6%
4 よりわかりやすい資料、 パンフレットの配布	569	28.3%	412	34.4%
5 様々な場所での既存の資料や パンフレットの配布	283	14.1%	263	22.0%
6 説明会等の実施による、 説明を受ける機会の増大	86	4.3%	73	6.1%
7 わからない	43	2.1%	36	3.0%
8 その他	50	2.5%	25	2.1%
無回答	7	0.3%		

(MA)問15-2パンフレットやポスターはどこで配布、又は掲示されると、いいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

	訪問調査		web調査	
	2008		1197	↓MAX100.0%
1 スーパー、小売店などの 食品売場の店頭	1634	81.4%	933	77.9%
2 新聞折り込み	1244	62.0%	677	56.6%
3 Web上	186	9.3%	209	17.5%
4 市区町村の役所	177	8.8%	103	8.6%
5 駅	101	5.0%	79	6.6%
6 その他	55	2.7%	27	2.3%
無回答	7	0.3%		

(MA)問16-1あなたは、どのような内容の情報を得たいと思いますか。

	訪問調査		web調査	
	2008		1197	↓MAX100.0%
1 食品表示の徹底・充実による 情報提供	1549	77.1%	786	65.7%
2 トレーサビリティ(生産履歴情報)等の 分かりやすい提供	975	48.6%	572	47.8%
3 専門的な内容を分かり易く解説した情 報提供	739	36.8%	518	43.3%
4 BSEなどの研究論文	80	4.0%	85	7.1%
5 特になし	130	6.5%	103	8.6%
6 その他	25	1.2%	12	1.0%
無回答	9	0.4%		

(MA)問16-2あなたは、どの情報媒体から情報を得たいと思いますか。次の中からすべて選んでください。

	訪問調査	
	2008	
1 新聞全般	1536	76.5%
2 テレビ	1749	87.1%
3 雑誌	394	19.6%
4 Web等	478	23.8%
5 携帯電話等(Web、メールマガジンなど)	22	1.1%
6 食品売場の店頭	744	37.1%
7 身近な人からの口コミ	90	4.5%
8 特になし	26	1.3%
9 その他	16	0.8%
無回答	16	0.8%

	訪問調査	
	2008	
a 一般紙社会面	756	37.6%
b 一般紙生活面	960	47.8%
c スポーツ新聞	25	1.2%
無回答	27	1.3%
a ニュース番組	1246	62.1%
b 健康番組	404	20.1%
c ワイドショー等	399	19.9%
d 科学番組・報道番組	395	19.7%
無回答	27	1.3%
a 健康関連雑誌	186	9.3%
b 週刊誌等	167	8.3%
c 婦人雑誌	107	5.3%
d ビジネス誌	38	1.9%
無回答	3	0.1%
a インターネットニュース	342	17.0%
b ブログ、SNSなど	25	1.2%
c 行政(国や自治体)のWebサイト	121	6.0%
d 専門家等の解説するWebサイト	77	3.8%
無回答	13	0.6%

		web調査	
		1197	↓MAX100.0%
1	一般紙社会面	595	49.7%
2	一般紙生活面	642	53.6%
3	スポーツ新聞	21	1.8%
4	その他新聞	3	0.3%
5	ニュース番組	825	68.9%
6	健康番組	341	28.5%
7	ワイドショー等	333	27.8%
8	科学番組・報道番組	382	31.9%
9	その他テレビ番組	6	0.5%
10	健康関連雑誌	281	23.5%
11	週刊誌等	266	22.2%
12	婦人雑誌	147	12.3%
13	ビジネス誌	77	6.4%
14	その他雑誌	9	0.8%
15	インターネットニュース	746	62.3%
16	ブログ、SNSなど	75	6.3%
17	行政(国や自治体)のWebサイト	256	21.4%
18	専門家等の解説するWebサイト	151	12.6%
19	その他Web	1	0.1%
20	携帯電話等(Web、メールマガジなど)	69	5.8%
21	食品売場の店頭	641	53.6%
22	身近な人からの口コミ	100	8.4%
23	特になし	15	1.3%
24	その他	3	0.3%

(MA)問16-3あなたは、どの情報媒体が正しいことを伝えていると思いますか。

		訪問調査		web調査	
		2008		1197	↓MAX100.0%
1	新聞	1463	72.9%	743	62.1%
2	テレビ	1260	62.7%	500	41.8%
3	食品売場での情報提供	431	21.5%	178	14.9%
4	Web	149	7.4%	127	10.6%
5	雑誌	122	6.1%	64	5.3%
6	身近な人からの口コミ	65	3.2%	33	2.8%
7	特になし	236	11.8%	235	19.6%
8	その他	34	1.7%	18	1.5%
	無回答	8	0.4%		

(SA)問17 国や地方自治体 -次に挙げる食品の安全に関する人や組織は、消費者の安全をどの程度考えていると思いますか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.00%	1197	100.00%
1	考えている	289	14.4%	76	6.3%
2	ある程度考えている	902	44.9%	518	43.3%
3	どちらともいえない	451	22.5%	298	24.9%
4	あまり考えていない	267	13.3%	230	19.2%
5	考えていない	80	4.0%	75	6.3%
	無回答	19	0.9%		

(SA)問17 生産者、生産者団体 -次に挙げる食品の安全に関する人や組織は、消費者の安全をどの程度考えていると思いますか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.00%	1197	100.00%
1	考えている	412	20.5%	158	13.2%
2	ある程度考えている	852	42.4%	533	44.5%
3	どちらともいえない	519	25.8%	326	27.2%
4	あまり考えていない	165	8.2%	152	12.7%
5	考えていない	41	2.0%	28	2.3%
	無回答	19	0.9%		

(SA)問17 食肉関係の専門家(食肉処理場の獣医師等) -次に挙げる食品の安全に関する人や組織は、消費者の安全をどの程度考えていると思いますか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.00%	1197	100.00%
1	考えている	453	22.6%	174	14.5%
2	ある程度考えている	853	42.5%	502	41.9%
3	どちらともいえない	525	26.1%	376	31.4%
4	あまり考えていない	116	5.8%	120	10.0%
5	考えていない	41	2.0%	25	2.1%
	無回答	20	1.0%		

(SA)問17 小売業者、流通事業者 -次に挙げる食品の安全に関する人や組織は、消費者の安全をどの程度考えていると思いますか。

		訪問調査		web調査	
		2008	100.00%	1197	100.00%
1	考えている	168	8.4%	55	4.6%
2	ある程度考えている	600	29.9%	319	26.6%
3	どちらともいえない	734	36.6%	460	38.4%
4	あまり考えていない	372	18.5%	286	23.9%
5	考えていない	112	5.6%	77	6.4%
	無回答	22	1.1%		